



開成宮農経済センターからのお知らせ

令和4年8月27日（土）

8：40～13：00



JA が厳選したお勧めの肥料・ラウンドアップマックスロードなどをお求めやすい
価格で販売します。また肥料・農薬メーカーによる商品説明や農作物栽培相談コーナ
ーもございます。秋の農作業のご準備に、この機会をご利用ください！！

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。※都合により不在の場合があります。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) ・はるみ玄米(1kg)470円→430円(税込) ・キヌヒカリ玄米(1kg)420円→380円(税込) 8月は9日・23日となります。
棚卸の日	7月29日(金) 月末(平日)は棚卸のため、15時に閉店致します。尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

回覧中の注文書について

「落葉果樹苗木」「みかん関連資材」「秋期生産資材」・「ネットラップL」
「椎茸菌・器具・原木」「ラウンドアップ」

※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

野菜・果樹秋肥料農薬・茶面積肥料の自己取りについて

予約注文(自己取り)をご注文されている方は、

令和4年8月5日(金)～令和4年8月15日(月)

8：40～17：00までに取りに来てください。

上記以外の8月お受け渡しの商品のご準備ができしだいお電話にてご連絡をいたします。

【水 稲】

水管理（高温障害の対応） 重要

出穂後20日間の平均気温が26～27℃以上の高温で推移すると、高温障害粒（乳白粒・心白粒等）が多発し、品質が低下してしまいます。温度上昇を防ぐために、出穂前15日、出穂後10日間は水を切らさないようにしましょう。

その後は、根の活力維持のため間断かん水に努めましょう。35℃以上の異常高温が予測される場合は、掛け流しかん水をすることにより、圃場の気温が低下して被害を軽減することができます。

病害虫防除 8月上旬～中旬（出穂後7日～10日頃が防除適期）

カメムシ類・ウンカ類 スタークル粒剤 3kg/10a 発生状況に注意しましょう。収穫7日前 3回

※ 本田へのカメムシ侵入を減らすため、畦の除草は出穂の10日前までに行いましょう。

防雀網の設置 開花時に影響が無いように、出穂前に済ませましょう。

自然対策

豪雨の時 水口、水尻を閉め過剰な水路からの流入による倒伏を防ぎましょう。泥水が入った場合には、すみやかに新鮮な水と入れ替えましょう。

強風の時 水口、水尻を閉め深水にして、風による倒伏を防ぎましょう。

——【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

7月下旬～8月中旬

黒点病

ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前 4回
又は

ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前 4回

ヤノネカイガラムシ

エルサン乳剤（劇） 1,500倍 66 ml/水100㍓ 収穫14日前 2回

8月下旬～9月上旬

黒点病

ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前 4回
又は

ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前 4回

ミカンハダニ

ダニエモンフロアブル 6,000倍 16ml/水100㍓ 収穫7日 1回

ミカンサビダニ

又は

ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫前日 1回

チャノキイロアザミウマ

スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

カメムシ類

ヤノネカイガラムシ

品質向上対策

① 熟期促進を目的に、フィガロン乳剤の散布 満開後90日と110日の2回 3,000倍 300㍓/10a

② 被覆資材の活用 敷設は8月中、取り外しは収穫前に行う。

着色向上を目的の場合は、樹冠下に敷く（部分被覆）

着色向上と増糖・除草を目的の場合には、園内全体に敷く（全面被覆）

【中晩柑】

はるみ・不知火は、初秋の乾燥で細根が枯死しやすいため、水分ストレスを受けやすく、小玉、高酸果の原因になります。敷わらマルチ、ナギナタガヤの草生栽培により梅雨明け後から秋にかけての土壌の過乾燥を防ぎましょう。著しく乾燥が続く場合は灌水も検討しましょう。また、1果当たり100葉を基準に早めの摘果をしましょう。特にはるみは着果量が多いと樹勢の低下や枯死の原因になりますので、樹冠上部1/3から1/4は必ず全摘果をしましょう。

【う め】

夏季剪定 8月中旬～9月中旬まで

縮間伐を行い周囲から光が当たるようにするとともに、立ち枝(覆う枝)の間引きで樹の内部まで光が入るようにして翌年の花芽の充実を図りましょう。8月中に終わると効果が高いです。

(小梅や樹勢が弱っている樹は、夏季剪定は控えめにしましょう。)

【キウイフルーツ】

夏季剪定終了後に発生した夏枝や、剪定した部分から出る新梢が巻きついた部分を取り除きます。結果枝の葉を充実させ、果実へ養分が行きやすくするために、新梢を伸ばさないようにしましょう。※カメムシ発生時は、スタークル顆粒水溶剤2,000倍 50g/水100ℓを散布(収穫前日 3回)

乾燥防止対策

肥大の時期には土壌を乾燥させないようにしましょう(敷わら・灌水)

【か き】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

病害虫防除

8月上旬

<u>カキノハタムシガ</u>	<u>ダントツ水溶剤</u>	<u>4,000倍</u>	<u>25g/水100ℓ</u>	<u>収穫7日前</u>	<u>3回</u>
<u>カメムシ類</u>	又は				
<u>コナカイガラムシ類</u>	<u>スタークル顆粒水溶剤</u>	<u>2,000倍</u>	<u>50g/水100ℓ</u>	<u>収穫前日</u>	<u>3回</u>
<u>うどんこ病</u>	<u>トップジンM水和剤</u>	<u>1,500倍</u>	<u>66g/水100ℓ</u>	<u>収穫前日</u>	<u>6回</u>

8月下旬

<u>うどんこ病多発園</u>	<u>トリフミン水和剤</u>	<u>3,000倍</u>	<u>33g/水100ℓ</u>	<u>収穫前日</u>	<u>3回</u>
-----------------	-----------------	---------------	------------------	-------------	-----------

灌水

肥大促進・充実のため、梅雨明け後に乾燥が続く場合は、1週間に1回程度灌水をしましょう。

【お 茶】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

土づくり

8月中旬までに苦土石灰120kgと有機物をすきこみ30cmくらいの深さに行いましょう。

病害虫防除

8月上旬～中旬

<u>チャノミドリヒメヨコバイ</u>	<u>ロディー乳剤(劇)</u>	<u>1,000倍</u>	<u>100ml/水100ℓ</u>	<u>摘採7日前</u>	<u>1回</u>
<u>チャノキイロアザミウマ</u>					
<u>チャノホソガ・チャハマキ</u>					
<u>チャノコカクモンハマキ</u>					

炭疽病

オンリーワンフロアブル 3,000倍 33ml/水100ℓ 摘採7日前 2回

8月中下旬

カンザワハダニ ミルベノック乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 摘採7日前 1回

整枝

一番茶以降、更新作業を行ってない園では、上旬をめどに整枝を行いましょう。

ただし、樹勢が極端に悪い場合は、整枝は行わないようにしましょう。

——— 【く り】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。 ———

病害虫防除

8月上旬

実炭疽病 ベンレート水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 裂果前但し収穫14日前 4回

モモノゴマダラノメイガ フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100ℓ 収穫前日 2回

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除について

スクミリンゴガイの発生が目立っています。この時期イネは被害されない大きさに育っていますが、非常に繁殖力が旺盛でまだまだ産卵時期が続きます。発生拡大を防ぐためにも対策をしましょう。

【対策】（薬剤散布と捕獲などを組み合わせて防除しましょう）

薬剤（スクミノン、スクミンベイト3）散布。貝が集まる深水部分への重点的な散布
貝の捕獲や卵塊の除去

水田の水口、水尻にネットを取り付け、水路からの侵入や隣接する水田への侵入を防ぐ
冬季に耕耘を行い、土中で越冬している貝を潰す

【注意事項】

スクミリンゴガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるためゴム手袋等を着用し素手では触らないようにしましょう。

SG21 令和4年度新規会員募集について

湘南ゴールドの生産・販売組織『SG21』の会員を下記の通り募集いたします。SG21では会員向けに栽培講習会や出荷に向けた目合わせなど湘南ゴールド生産者の支援を行っています。加入希望の方はお申し込みください。

- ・事業年度：令和4年7月1日～令和5年6月30日
- ・年会費：1,000円/年額
- ・申し込み：山北支店及び各営農経済センター窓口
- ・申込期限：令和4年8月26日（金）まで
- ・お問合せ：営農部営農指導課（46-6950）